

■現地視察後の意見（任意） ― 1. 前畑弾薬庫（跡地）が担うべき役割

No.	委員	意見	要約	集約
1	A	・市民にとって歴史と自然を楽しめる地域としての位置づけ。	・歴史と自然を楽しめる	・あふれる魅力創出・体感 ・新たな産業誘致・観光客誘致等による経済振興 ・日本遺産・ヘリテージ佐世保の宝箱として保存・活用し「宝箱・ひと・観光」を繋ぐ ・文化的価値（日本遺産、自然環境） ・人と自然が共生 ・自然林、緑地及び海岸線の利点を活用 ・港湾機能（船舶の係留施設、海上物流施設等） ・商港としての機能 ・地域の振興、発展 ・臨海部に誘致可能な産業 ・快適な生活と交流を支えるまち ・地域に必要な生活関連施設の建設、整備用地 ・住宅地 ・海を活用した防災機能等 ・市中心部に近接する優位な立地条件
2	B	・前畑弾薬庫（特に洞窟式）は、旧日本海軍の偉大なる遺産であり、後世まで保存すべきと考える。	・旧日本海軍の偉大なる遺産の保存	
3	C	(1)全域が、米軍専用地域であったことで残された自然林、緑地及び海岸線が持つ利点を活用 (2)米軍専用施設のため活用出来なかった道路、公共施設等、地域に必要な生活関連施設の建設、整備用地として活用 (3)海軍遺産の保全、活用	・自然林、緑地及び海岸線の利点を活用 ・地域に必要な生活関連施設の建設、整備用地 ・海軍遺産の保全、活用	
4	D	・旧軍用財産の市への返還は 25 万都市としての将来を見据えた佐世保の産業経済市民生活の発展に寄与すべき役割を担っていると考える。新たな産業誘致・観光客誘致等による経済振興が期待されるとともに跡地の再整備を図ることにより、市民生活へ「快適さ」の提供が可能となる。	・新たな産業誘致・観光客誘致等による経済振興	
5	E	・返還後、前畑弾薬庫跡地は佐世保駅から 3km 内の中心地に位置した、既存の社会資源をそのまま活用できる、最後で最大の「佐世保の宝庫」である。 ・まちづくり基本目標としては、市民の地域コミュニティとして「7. 快適な生活と交流を支えるまち」「6. 人と自然が共生するまち」、観光振興として「4. あふれる魅力を創出し体感できるまち」「7」として位置付けられる。 「1. 快適で魅力ある街の再生」「5. 活力と賑わいのあるみなとづくり」の政策として「成長戦略プロジェクト 1. 観光振興」を柱とし「地域ブランドカを高め、オンリーワンの観光地づくり」として、佐世保湾を含めた、観光都市機能強化の大きな役割をもつ地域・施設であり、次世代まで繋ぐ、佐世保市民や観光客をひきつける【日本遺産・ヘリテージ佐世保の宝箱】として保存・活用し【宝箱・ひと・観光】を繋ぐ基本利用構想とします。	・市民の地域コミュニティとして「快適な生活と交流を支えるまち」「人と自然が共生するまち」 ・観光振興として「あふれる魅力を創出し体感できるまち」「快適な生活と交流を支えるまち」 ・「日本遺産・ヘリテージ佐世保の宝箱」として保存・活用し「宝箱・ひと・観光」を繋ぐ	
6	F	・第一に、前畑弾薬庫（跡地）が持つ非代替性の面から検討すべきである。（どこにでも整備可能な役割については優先順位が低いと思料される。） ・前畑弾薬庫(跡地)が担うことが可能な非代替的な役割としては、 ○港湾機能（船舶の係留施設、海上物流施設等）⇒佐世保港内においては、提供水域外にのみ整備可能である。 ○文化的価値（日本遺産、自然環境）⇒建造物としての希少価値があり、観光資源として高い価値を有する。 ・第二に、立地条件の優位性を引出す役割を検討すべきである。 ○人口密集地、都市機能の中枢に近接⇒適切なアクセスを確保すれば、人・物の移動が容易である。 ・上記を踏まえて、担うべき役割の優先順位を付すためには、長期的な観点で、佐世保市として現状不足している又は今後不足が見込まれる機能（商港としての機能、臨海部に誘致可能な産業、住宅地、海を活用した防災機能等）について、市のデータや商・産業界及び市民からのニーズを整理する必要がある。（議論が拡散し、単なる人気投票にならないように注意する必要がある。）	・港湾機能（船舶の係留施設、海上物流施設等） ・文化的価値（日本遺産、自然環境） ・人口密集地、都市機能の中枢に近接する優位な立地条件 ・商港としての機能、臨海部に誘致可能な産業、住宅地、海を活用した防災機能等	
7	G	・現在、「佐世保市都市計画マスタープラン」における地域別構想の中では、当該地区の平地部分は「工業地」、山林部分は「自然環境共生地」とされているが、都市計画において、当該地区にどのような役割を持たせるべきか、全体の中での位置付け(期待される役割)を明確にしておく必要がある。 特に、当該地区が佐世保港内の一部であることに留意すると、まずは、佐世保港内地区(佐世保港に面している地区)に不足する機能を補完する観点から付与すべき機能を整理し、次に、当該機能の整備に向け、前畑跡地をいかに活用するかを検討する。更に、その周辺地区との接続に配慮の上、全体として有機的に機能するような役割を持たせることが望ましいと考える。	・佐世保港内地区(佐世保港に面している地区)に付与すべき機能を整理し、当該機能の整備に向け、前畑跡地をいかに活用するかを検討する。周辺地区との接続に配慮の上、全体として有機的に機能するような役割	
8	H	・地域コミュニティを一つの単位とした組織の代表である。大黒町、干尽町も組織内にあり、弾薬庫は地域住民に何十年も危険や不便をかけてきている。地域住民が昔のように安全な環境で、安心して暮らせる快適な生活が取り戻せるように、地域の振興、発展及び歴史の保全に取り組む必要があるのでは。	・地域の振興、発展及び歴史の保全	

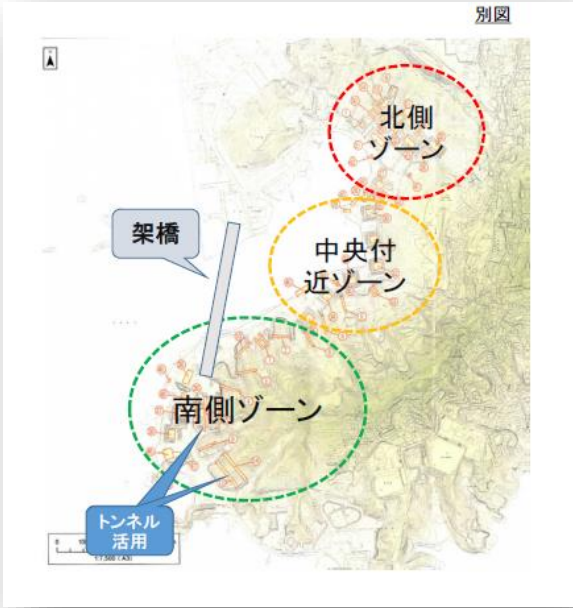
■現地視察後の意見（任意） __ 2. 前畑弾薬庫跡地の活用策

No.	委員	意見	要約	集約
1	A	・一例として、舞鶴赤れんがパークのように「教育、イベント、遊び、ショップ、レンタル施設」等市民が活用できるエリアとして活用したい。	・教育、イベント、ショップ、レンタル施設等	・弾薬庫を「登録有形文化財」に、前畑弾薬庫跡地全域を「重要伝統的建造物群保存地区」に登録
2	B	1 森林地区、市民の憩いの場として活用 (1)前畑弾薬庫森林地区、干尽公園、天神公園を結ぶ遊歩道を整備する。 (2)前畑弾薬庫森林地区を整備、干尽公園、天神公園を含めた市民憩いの広場として整備する。 2 弾薬庫(洞窟式)を観光目的としての活用 (1)弾薬庫(洞窟式)施設について、旧海軍使用時の現状に戻し、観光バス（海風等）の観光コースに組み入れる。また、既存の岸壁を整備、海上からの遊覧も可能にする。 (2)佐世保駅からシャトルバスを運行、他県からの観光客に便宜を図る。	・森林地区、干尽公園、天神公園を結ぶ遊歩道 ・市民憩いの広場 ・海風や遊覧船等の観光コースに組み入れ ・駅からシャトルバス運行	・倉庫群は既存のまま保存し内部をリノベーション ・史跡を活用した複合施設（教育、イベント、ショップ、レンタル施設等） ・歴史公園、資料館の整備
3	C	(1)天神公園の拡張、海浜公園の新設 ・緑地の保全・海岸線の利活用・景観の保全 (2)崎辺西地区に新設される自衛隊施設、部隊との連携 ・市内に散在する自衛隊部隊の再編によるすみ分けの促進 (3)周辺地域を活性化するために必要な道路網の整備 ・基幹道路の新設	・天神公園の拡張 ・海浜公園の新設 ・崎辺に新設される自衛隊施設、部隊との連携 ・道路網の整備	・バスや遊覧船等の観光コースに組み入れ ・巡回型史跡巡りの拠点 ・造船所横から弾薬庫跡地まで屋形船の巡航 ・H T Bとの連携
4	D	1. 旧軍関係の文化財と連動させた巡回型の史跡めぐりの中心として整備する。 ・観光施設として「跡地」を再整備し、ツアーの中心的役割を持たせる。 ・港湾施設を整備し、鹿子前の遊覧船とのマッチング、ハウステンボスとの連携を図る。 2. 山側の森を一般市民が手軽に自然と触れ合うことが可能な「水辺の森」として開発。 上記 1.2 により「跡地」を最大限に活用できる空間の構成を目指す。	・巡回型史跡巡りの拠点 ・遊覧船とのマッチング ・H T Bとの連携 ・自然と触れ合う「水辺の森」として整備	・森林地区、干尽公園、天神公園を結ぶ遊歩道 ・天神公園の拡張・海浜公園の新設 ・自然と触れ合う「水辺の森」として整備
5	E	・【7. 倉庫群等を活用した観光施設】【9. 公園や広場等市民の憩いの場】をコンセプトとし、倉庫群は既存のまま保存し内部をリノベーション、 ・パゴダ式倉庫を「旧海軍鎮守府ミュージアム」「平和ライブラリー」「アートミュージアム」「海軍さんカフェ」「おみやげ宝箱・宝庫」等に、 ・隊道式爆弾庫を「トンネルコンサートホール」「トンネルシアター」「キッズおばけトンネル」等にし、 ・白テント広場（バックゲート付近にある施設）をイベントエリアとし「海・空の見えるフィールドミュージアム(海自退艦護衛艦展示)」「アメリカンカーニバル(ニューアメフェス)」等に活用し、 ・残された森林は天神公園と一体化し(たびら昆虫自然園風に)自然公園を保存・活用し、「海軍さん桜公園」として名所活動をする。 ・上記はリノベーションであるが、実現可能なのは、保存された弾薬庫倉庫を【登録有形文化財】に登録し、前畑弾薬庫跡地全域を【重要伝統的建造物群保存地区】通称伝建地区(西九州倉庫(株)所有の分も含むことが可能であれば)に登録し【日本遺産】を大規模に活性化させる。 ・【日本遺産】は点在する遺産を「面・ストーリー」、【登録有形文化財】は「個・一戸の建物」、【伝建地区】は「エリア・連続集団した地区」。 ・【伝建地区】は現在日本に 114 箇所位ありますが、殆どが木造物遺産です。旧海軍レンガ群が登録されれば画期的(唯一小樽煉瓦群は商業港町)で全国報道され、観光振興に繋がります。 ・禁止海域も廃止し、軍港クルーズの中に企画、海からの景観も取り込む。 ・前畑造船所横から前畑弾薬庫跡地まで、「前畑屋台船」を、晴天の日には巡航させる等、数十年後「宝庫・日本遺産の街・軍港佐世保」を「夢をかたち」にしたい。	・倉庫群は既存のまま保存し内部をリノベーション ・弾薬庫を「登録有形文化財」に、前畑弾薬庫跡地全域を「重要伝統的建造物群保存地区」に登録し、日本遺産の活性化 ・造船所横から弾薬庫跡地まで屋形船の巡航	・人(観光等)及び物(産業等)の流れを生み出す施設やアクセス道路等 ・道路網の整備 ・駅からシャトルバス運行 ・港のすみ分けに資する取り組み ・崎辺西地区に新設される自衛隊施設、部隊との連携 ・干尽埠頭の拡充

No.	委員	意見	要約	集約
6	F	・前項で触れた「担うべき役割」の優先順位を踏まえて、ゾーニングを決定し、人(観光等)及び物(産業等)の流れを生み出す施設やアクセス道路等を整備する。 ・また、単なる弾薬庫建物等の見学コースで終わることなく、統一したイメージで継続して国内外の人を誘引するインパクト(一点集中)のあるエリアとする。(例：日本一、米国との親和性が高い地域として、Google、Amazon などの米国系企業の誘設やアメリカンな雰囲気)に統一し、日本にいながらにしてアメリカにきた感じになる、日本一の英会話学習拠点等) ・具体的な活用策については、役割の優先順位が決まってからだと思料しますが、全国の臨海施設の成功例、失敗例を教訓として調べてみるのも有益かと思います。 ・成功例：横浜 MM21、赤レンガ倉庫 等、 ・失敗例：名古屋イタリア村 等 ※旧軍転法上の譲与することのできる用途の範囲（縛り）との兼ね合いで、無償用途を中心に活用した方が財政的な負担を軽減か？	・人(観光等)及び物(産業等)の流れを生み出す施設やアクセス道路等	
7	G	・前項の趣旨に沿って整理していく中で検討を進めるのが適当と考える。	—	
8	H	・西九州道路の二車線化と干尽インターの完全化と干尽町のレンガ倉庫群とセットした、弾薬庫の森林内にある明治時代から居住跡の発掘作業の実施と居住跡・自然林・パゴタ式火薬庫・洞窟式火薬庫を生かした、佐世保市に例がない「歴史公園」や資料館の新設、又海岸線には「海浜公園」と崎辺までの遊歩道の新設等を行い、干尽埠頭の拡充と併せ、海外・他県の観光客の誘致に活用できると思料される。	・佐世保市に例がない「歴史公園」や資料館の新設、又海岸線には「海浜公園」と崎辺までの遊歩道の新設 ・干尽埠頭の拡充	

■その他自由意見〔参考〕

No.	委員	意見	要約	集約
1	A	・環境部と共同して、生態系（動、植物など）調査をしてもらいたい。70 年間人が入ってない自然林の生態系調査が必要。 ・『舞鶴赤れんがパーク』の資料を配布してもらいたい。※別途、資料提供予定 ・建造物は取り壊すと二度と手に入らないものである事を理解して欲しい。	・生態系（動植物等）調査	・生態系（動植物等）調査 ・集落跡等の発掘調査 ・自然林の保護 ・住民住居跡及び海軍遺産の再調査 ・緑地保全による地球温暖化対策 ・耐震補強 ・公園等として整備された場合、弾薬庫沿いの土地所有者に対する「規制」 ・軍用財産の活用 ・土木・建築関係の遺産巡回ツアー ・駐車場整備 ・アクセス道整備 ・トイレ整備 ・針尾弾薬庫の整備
2	B	・現在地域住民は、前畑弾薬庫が存在するために、色々な、規制があって、前畑弾薬庫沿線に、土地があっても住宅等の建設が制限されている。仕方なく畑を作っているが、近年は猪（弾薬庫の森林が繁殖地となっている）の被害が多く、耕作を止めている人が、大半である。今後跡地が公園等として整備された場合、土地所有者にたいしての「規制」を考慮していただきたい。	・公園等として整備された場合、弾薬庫沿いの土地所有者への「規制」	
3	C	(1) 米軍専用地域のため出来なかった住民住居跡及び海軍遺産の再調査 これまで手つかずの地域であり、地域の振興、発展及び歴史の保全に取り組む必要があると思います。当地域には「佐世保市南地区郷土誌調査研究会」があり、過去に一度米軍の許可を得て調査した実績がありますが、十分な時間をかけ佐世保市の学術研究事業として早急に実施すべきだと思います。 (2) 地球温暖化対策への貢献 弾火薬庫には、火薬類取締法に基づき保管量に比例する保安距離が決められており、その区域は立ち入りが出来ません。そのため前畑弾薬庫の周辺森林は、原生林の面影を残しており、米軍から返還されれば、この森は佐世保市が保有する貴重な財産です。地球温暖化で全世界的に対策がとられようとしている今、周辺の緑地保存は、佐世保市が世界に自慢出来る施策になります。	・住民住居跡及び海軍遺産の再調査 ・緑地保全による地球温暖化対策	
4	D	1. 佐世保は明治維新以来軍港とともに歩んできており、国登録や国重文の数多くの軍用財産を所有している。今後ともその活用を考え、産業振興、市民生活の充足、快適性を追求することが求められていると考える。 2. 佐世保市には針尾の無線塔を始め、平瀬、立神煉瓦倉庫群等の文化財や土木、建築関係の財産が数多くあり、それらを生かすためにも、前畑弾薬庫跡地を中心に巡回ツアーができるような活用策が市の発展には必要と考える。また、市の発展に寄与された吉村長 策氏（1860～1928 年、明治・大正期の海軍技士、佐世保鎮守府建築科長等歴任）等、先人の更なる宣伝を行うことも有意義であると思う。	・軍用財産の活用 ・土木・建築関係の遺産巡回ツアー	
5	E	・上に、夢物語を書きましたが、問題点は「耐震補強」「保存」「交通・アクセス・インフラ」です。耐震補強は一部調査次第ですが、目視で OK かも。 ・駐車場は干尽公園を整備するか、入場口横の工場等を代替地移転交渉するかです。 ・道路が整備されれば、天神公園からのアクセスも、自然を残して必要かも（景観重視したロープウェイか、屋根付エスカレーター・空から観るミュージアム）、また観光にはトイレが不可欠です。合併浄化槽の整備が必要です。 ・佐世保湾からの景観が素晴らしい一部煉瓦造倉庫の見学が出来れば、有形文化財登録も増えるかも、入口（メインゲート）近くの煉瓦倉庫も見たい。 ・有償返還になるのはカットして下さい。	・耐震補強 ・駐車場整備 ・アクセス道整備 ・トイレ整備	
6	F	（委員以外の弾薬庫見学同行者からの自由意見） <u>1 前畑弾薬庫（跡地）が担うべき役割について</u> 近代化遺産の一つとしてその歴史を後世に伝えること。また、観光・交流施設として地域活性化のために活用されること。 更に、緑地帯など展望の良い環境を活かし、人と自然が共生し市民が健康で安心して暮らせる地域が創生されることなどの役割が期待できます。 <u>2 前畑弾薬庫（跡地）の活用策</u> 大きくは 3 つのゾーニング（別図参照）に分けます。まず、1902 年竣工等、比較的古い時代に建造された建造物等は『北側』のゾーンとなっていることから、この区域を重点的に近代化遺産の一つとして保存整理し、その歴史を後世に伝えることが可能です。 また、『中央付近ゾーン』では一部倉庫については外観は極力保存し、地域の海産物・農産物の販売、レストランや日米物販販売施設や観光・交流施設として活用されることが期待されます。一部のトンネル式の弾薬庫については、強度を確認後、道路として活用（転用）により後世にわたり保存できます。更に山側の緑地帯など『南側ゾーン』は自然を活かしつつも、展望の良い環境にマンション、特別擁護老人ホーム、病院、自然を残した公園などを配置し、人と自然が共生し市民が健康で安心して暮らせる地域創生が期待できます。	—	

No.	委員	意見	要約	集約
		3 自由意見 前畑岸壁側の地盤強度確認し、南側（弾薬庫跡地）に向け架橋し、又は既存の道路を有効活用して、一部既存弾薬庫のトンネルを活用するなど拡充整備することにより、干尽～前畑～崎辺地区へのアクセスが確保され、天神町周辺の交通渋滞軽減も期待されます。 別図 		
7	G	- 有識者会議事務局（市基地政策局）作成の資料「前畑弾薬庫跡地利用構想の策定方針について」によれば、構想策定の目的は、「佐世保港のすみ分けを促進し、本市の公共利用または産業の振興等に活用すること」とされている。 - 佐世保港のすみ分けは、貴市の長年の懸案（悲願）と認識しているところであるが、前畑弾薬庫の移転及び弾薬庫跡地の利用は、すみ分けを推進する上で契機となる可能性がおおいにあることから、そもそもの近隣住民への安全対策の観点に加え、佐世保港のすみ分けの推進との観点からも、前畑弾薬庫の移転については、より一層の促進を図ることが重要と考える。 - 他方で、前畑弾薬庫からの施設移転先となる針尾弾薬庫における整備が具体的に進捗しなければ、全く意味がないものと認識しており、この点についても速やかに事業の進捗が図れるよう、引き続き、貴市との間において認識を共有したいと考える。	針尾弾薬庫の整備	
8	H	- 佐世保市南地区郷土誌調査研究会が平成 7 年 7 月 28 日に米海軍佐世保基地司令官の許可を貰い、「天神公園敷地より海岸線に至る間」の調査が行われている。 - 明治 19 年に「旧前畑村」村民は、旧明治海軍の軍用地になるために、疎開をさせられている。伝承によれば買収以前には、人々の生活の営みと金比羅神社があったと言われている。（約数十戸の集落） - 跡地の活用策や利用目的が別の案件で決定しても、その工事前に明治の集落跡の発掘作業と明治海軍と旧日本軍の海軍遺産の確認作業、明治 19 年以降、明治海軍、旧海軍、米軍等の火薬庫になって以来、民間人の入山の形跡がない自然林の保護は、歴史に残る遺産になる一方、地球温暖化対策にも貢献できる。	- 明治の集落跡の発掘作業と明治海軍と旧日本軍の海軍遺産の確認作業 - 自然林の保護	